

# 無水系 BDF 洗淨実験

## 1. 目的

昨今の水洗浄の盲信的風潮に警告を發し、廃油系 BDF の存在意義と環境配慮型燃料の水洗浄工程(タイミング)を振り返るきっかけを提唱する。

## 2. 実験内容

サンプル; 秋田運送様より入手。6月の小坂町イベントの際の持ち込んだものの残り

日時; 2006年07月18日 17:30~18:00 室温; 26

実験手法

常温 BDF300CC に 100CC/51 の温水を加えシェイクその後全体を 50 以上に湯煎で暖め、更にシェイクする。

2液に分かれた後撮影。

## 3. 実験結果

お湯が通った軌跡に白い濁りが発生。

シェイクすると全体に広がった。



## 4. 考察

- 僅かな触媒量でも水と反応して、メチルエステルを鹸化する。(触媒量多いと鹸化量増大)
- 触媒は極力無水状態で取り除く事が有効と考える。
- 触媒成分を取除いた後水洗浄することが望ましいと考える。
- 洗淨廃液は、若干の濁りがあるが、ピンの反対側文字が鮮明に読める。(生活雑排水レベルと推測)